

現状の課題

対応

国際MICE再開に向けた国としての方針や見通しの見えにくさ、海外関係者への情報が不足

安全なMICE再開に向けた、日本としての姿勢の発信・アクション

- 日本としての姿勢の発信、アクションの提示(国・JNTO)
- 今後のMICE推進に向けた目標の設定(国)
- 国内外MICE関係者への水際対策や安全・安心の情報発信(JNTO)
- 主催者への対面開催支援と海外オンライン参加者の訪日促進(開催地)

MICEのデジタル化・オンライン化への対応の必要性と、当面、開催地への訪問者が減少する中でのMICEの誘致開催意義の再整理・社会的理解の深化の必要性

デジタル化など新たな課題への対応

- ハイブリッド開催に必要な設備導入と運営ノウハウ・技術の積極的取得(各都市、施設、PCO)
- 新技術や海外の先進システムの積極導入による新たなビジネスモデルの検討、MICE人材のデジタルリテラシーとノウハウの取得(各都市、PCO)
- MICEの新たな運営手法等の標準化や知的財産保護(関係業界)
- 各都市へのハイブリッド会議の運営ノウハウの提供支援等(国)
- 対面参加の魅力向上等とインセンティブ旅行誘致におけるマーケティング強化(各都市、JNTO)

MICEの意義の再定義と認知度の向上

- 直接の経済効果だけではないMICEの開催意義や「レガシー効果」について積極的に周知(国)
- MICEの意義について住民の理解を深め、地域全体でMICE参加者を受入れ、交流することで、MICEの開催効果を高める(各都市)

諸外国との誘致競争再開に向け、海外に後れをとることなく誘致再開・誘致競争力強化に取り組む必要性

国の産業政策等との連携、マーケティング戦略の高度化

- 国内展示会の国際化促進等に取り組むとともに、我が国や地域の課題も意識しつつMICE誘致を戦略的に実施することを検討(国、JNTO)
- 新たなマーケティング戦略の策定・実施(国、JNTO)
- オンライン化の影響を受けにくいインセンティブ旅行の誘致推進(JNTO、各都市)等

一般観光とMICE誘致との連携

- 各都市等における体験価値をさらに向上させるため、一般観光向けの施策との連携を検討(国)
- MICE誘致と一般観光の一体的な推進、一般観光施策のMICE誘致への活用(地域のCB、DMO/DMC等)

開催地としての魅力の向上

- 魅力的なユニークベニューの発掘・活用を推進(各都市)
- MICE誘致における広域連携(各都市、周辺地域、DMO等)

アカデミアにおけるMICE誘致開催意欲の喚起

- 大学・研究機関等におけるMICE誘致開催ノウハウの提供や人的な支援のあり方等について検討(国、JNTO、PCO)

新たな課題への対応

- SDGsを意識した提案による誘致(各都市、PCO)
- キャンセルリスク分担のあり方の検討(各都市、施設、PCO)
- 国、JNTO、自治体・コンベンションビューロー、業界等の連携強化